

「得点できたかどうか」「○か×か」ではなく、問題文を読んだ時に、「その関連の知識が、頭の中にどう収納されているのか、フォーカスポイントはどこか」を簡単に**余白に描き出して**みてください

ウラ模試 1

[No.4] 伝熱・結露に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 屋外の風速が大きくなると、一般に、熱貫流率は大きくなる。
2. 室内において、自然対流熱伝達率は、熱の流れる方向と室温・表面温度の分布によって変化し、室温が表面温度より高い場合、床面より天井面のほうが大きな値となる。
3. グラスウールは、一般に、かさ比重が大きくなるほど熱伝導率は小さくなる。
4. 木造建築物の外壁において、冬期における室内側の表面結露を防止するためには、断熱材の屋外側の透湿抵抗に比べて、屋内側の透湿抵抗が大きくなるように断熱材の屋内側に防湿層を設ける。

[No.9] 色彩・光色に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 彩度は、視感反射率に対応する値であり、マンセル表色系ではクロマとして表される。
2. 建築空間において、小面積の高彩度色を大面積の低彩度色に対比させて用いると、一般に、アクセント効果が得られる。
3. 色光の誘目性は、一般に、色相では赤が最も高く、青がこれに続き、緑が最も低い。
4. 進出色は、周囲よりも飛び出して見える色をいい、暖色や高明度色が該当する。

[No.10] 音響に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 音の大きさの感覚量が一定の場合、その音圧レベルは低音域で小さく、3～4kHz 付近で最大となる。
2. 屋外において、遠方の音源から伝搬する音の強さは、空気の音響吸収によって、高周波数域の音ほど減衰する。
3. 背後空気層をもつ板振動型吸音機構において、空気層部分にグラスウールを挿入した場合、高周波数域での吸音効果についてはあまり期待できない。
4. 環境基本法に基づく騒音に係る環境基準において、「道路に面する地域」の地域における夜間の基準値は、昼間の基準値に比べて 5dB 低い値とされている。